

アジリティー競技会におけるアンケート調査結果

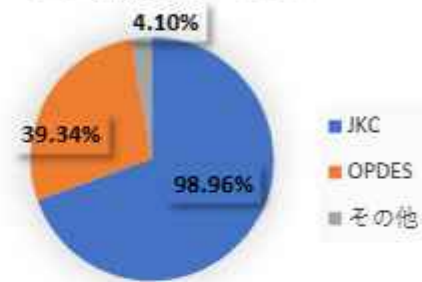
回答総数	266
有効回答数	244
無効回答内容	重複及び無回答等

1) 出陳犬の月齢平均 6.1歳

2) 主に競技している団体

JKC	98.96%
OPDES	39.34%
その他	4.10%

主に競技している団体



3) 競技会で不安を感じた 62.70%

安全に配置された道具	24.59%
グラウンドの状態	54.92%
リンクの設営	34.02%
安全に配慮されたコース	65.57%

競技会で不安を感じた要素



4) 不安要素の内容 添付資料参照①

5) 不安要素改善の要望 添付資料参照②

6) 競技各団体への要望 添付資料参照③

7) 練習中競技会中の怪我の有無 60.66%

8) コンディショニングの有無 88.93%

9) 総評

競技に参加している犬の平均月齢は、6.1歳、最高齢が15歳とありましたが、世代では、10歳程度かと思います。最年少は1歳（アトラクション）と低年齢化が進んでいるように感じます。その競技会そのものに関しては、参加している競技団体で最も多かったのがJKC、次いでOPDESとなっていますが、両方へのエントリーをしている方も複数おられるようです。中でもJKCへの参加者は全体の9割を超えていて大多数がJKCへ参加していることが見受けられます。競技会出陣時感じた不安について、参加者の6割強で何らかの不安を感じたとの回答がありました。不安を感じた事柄については、コースの安全性について感じたことが多く有り、次いで、グラウンドのコンディション、リンクの設営の仕方、最後に安全に配慮された道具となっていました。コース安全性においては、特にコンタクト障害へのエントリーラインについての意見が多く見られました。（添付資料1参照）その他、リンク出入口での犬同士の衝突などの意見も多く見受けられます。それぞれの団体へ改善要望としては、グラウンドコンディションによる意見が事柄見られました。その他使用機材への要望で統一を望む声も多く有りました。参加者各自の意識の持ち方で改善できる要素もあり参加者各自も考えていかなければいけない事も多くあるかと思いますが、まずは、これらの意見が今後のアジリティ競技における一意見としてこのアンケート内容が今後の競技会において安全に運営できる一助となればと切に願います。

添付資料1	不安要素
1	アップ場所がない、地面が非常に悪い
2	グランド状態
3	強風でのDW、水溜まりのあるリンク 雨の中での競技
4	犬は強風時のドッグウォーク 人は田んぼ状態の地面スパイクを履いていても滑る地面
5	スタート前に並ぶ時の犬同士の距離の近さ
6	犬がリンクから脱走した時の対処
7	雨でぬかった地面で犬も人も滑りやすいとき 雨でタッチ障害が滑りやすいとき
8	競技会場の足場
9	ウイングがストライプ状になったハードルに頭が挟まったことがあります。悪天候のときのトンネルやタッチ物の滑りもきになります。
10	リンクの出口、走り終わった犬を使まえる事無くそのままmでてくるパターンはよくある。興奮しているのでそのままその場にいた犬とガウガウとなった場面を見たことがある。
11	競技会場（リンク内）凸凹（実際凹んでいる場所で転倒して怪我をしたハンドラーがいるし）・強風時のDWの使用
12	攻撃性のある犬がいること。犬の扱いに不慣れなハンドラーが犬から目を離していること。
13	コース設定、道具の古さ、競技会場の地面の状態が悪い
14	地面
15	ネットとテントが近すぎて、競技中ねっと間にいた犬がネット挟んで突進してきた。
16	ロンジャンやレンガが木製。柔らかい素材であるべき
17	スタート付近で、出待ちをしていてたら他犬におそわれかまれた
18	トンネルがプヨプヨ（柔らかすぎる）なのにトンネルホルダーが3か所しかとまっておらず、しかもU字配置
19	ゴールの延長線上のリンク外にいる犬パー直しのグランドスチュワートが無理に落ちたパーをあげにきて走行ラインに入ってきたとき 走行中にリンクに乱入してくる犬 グランドぼこっとした刈り残された草、スモールなので犬がつまづいたりしやすい DWの侵入角度が鋭角なコース 強風で登りが上がってしまっているシーソー 強風するとき競技で走ったとき風に煽られてDWから落ちたこと 大雨でぬかるみ、すべるグランド
20	嘔みつかれそうになった。
21	JKCのクラスわけで うちの子48センチ代が 60センチパーを飛ばせることが 犬の負担ではないかと不安
22	リンクの囲いがあまいため犬同士の事故が発生
23	道具の設置（正しく組み立てられていない。）
24	フィールドの状況と木を使った機材
25	カットされていない長めの雑草フィールドに犬も人も足をとられそう。

添付資料1

不安要素

26	道具
27	機材、コースデザイン
28	機材やコース設計
29	過去ドラハで咬まれた事があるので自分の犬をよく見ていない方
30	天候
31	雨天、強風でのDW
32	ゴール付近でみている人の犬と接触した。
33	フィールド内のデコボコやぬかるみ、横風によるドッグウォークからの落下
34	アジリティ機材及びリンク環境
35	トンネルの入口
36	落下や転倒による怪我
37	犬同士の喧嘩です。
38	犬同士の喧嘩です。大型犬でリードを持たないで伏せとかしているワンちゃんいるので、危ないなって思ったことが多々あります。
39	雪が降った後、リンク内の所々が凍っていた。
40	大雨で地面が滑りやすい状態のとき
41	コンタクト障害へのエントリーライン
42	障害道具が老朽化してたり、トンネルやスラロームの固定方法が雑になったりして危ないと感じた事がありました。
43	怪我のリスクがある犬の競技会に獣医師が常駐していない。
44	ドッグウォークのエントリーの侵入角度が悪く犬が落ちそうになった。
45	ルアーコーシング
46	タッチ競技等で肉球をすりむいてしまう
47	他の犬に襲われかけた。
48	子供が突然犬に触る
49	強風の時、タッチ障害から落ちるのではないかと思った。
50	コース 角度が危険 地面が硬い
51	フィールドに凸凹がある時や天候による不安がある事はあります。
52	入口と出口に人が多すぎる。
53	スモールと同じコース障害間隔、飼い主でも制御できない興奮（噛む）犬とのスタート待機場所の問題
54	グラウンドの悪い会場や雨の日の競技
55	フィールドのメリケントキン草
56	競技が終わって、出口にいた他の犬と接触
57	大雨で田んぼアジリティ、トンネルの角度、ドッグウォークの侵入角度、トンネルの固定方法、スラロームの固定方法、理不尽なコース
58	雷

添付資料1

不安要素

59	他犬とのトラブル
60	他犬との接触トラブル
61	障害の配置
62	雨天時での競技
63	興奮した犬が自分の犬に飛びかかってきた。
64	トンネルの固定、グラウンドコンディション(雨の後など)
65	地面の状態 硬かったり石がたくさんあったり
66	グラウンドの状態
67	雨、風のコンディションが悪い時
68	競技会でタープの後ろで、持参の道具(ハードルなど)で練習をされていた時に、横を散歩していた時に不安を感じました。
69	待機場所での他の犬との接触(競技者と見学者)、足場の凸凹
70	待機場所での他の犬との接触(競技者と見学者)、足場の凸凹
71	雨など濡れたトンネル
72	雨など濡れた状態のトンネル
73	雨など濡れた状態のトンネルはノンスリップでも滑る時が多い
74	会場に張っている紐?が浮いていて躓いたり、地面の凸凹で躓いたりして転びそうになる
75	大雨の雨天後のグラウンドコンディション
76	道具
77	リンク外でのノーリード
78	リンク以外でのノーリード
79	テントの設営
80	地面の凸凹
81	グラウンドの状態
82	他の犬にかまれそうになった。混雑していて小型の犬は気づかれず踏まれそうになった。
83	コース作成者がコースの難易度だけにとらわれて犬の走行ラインなどが急旋回になるようなコースを作る。
84	コース作成者がコースの難易度だけにとらわれて犬の走行ラインなどが急旋回になるようなコースを作る。
85	グラウンドの状態凸凹、草の長さで足をとられること。
86	犬では、トンネル 特に雨の日。人も、雨の日の足場の悪さ

添付資料1

不安要素

87	雨の日の競技会で、地面が滑り過ぎて人も犬も危ない事がありました。コース設営でウォールの角度が急すぎてかすただけなのに、ウォールのサイドが倒れる事がありました。かなりの犬が倒してました。ラージならわからない事もないですが、ミディアムの犬でもありました。風の強い日に、お友達のボーダーコリーAフレから飛ばされた事もありました。
88	雨の日の競技会で、地面が滑り過ぎて人も犬も危ない事がありました。コース設営でウォールの角度が急すぎてかすただけなのに、ウォールのサイドが倒れる事がありました。かなりの犬が倒してました。ラージならわからない事もないですが、ミディアムの犬でもありました。風の強い日に、お友達のボーダーコリーAフレから飛ばされた事もありました。
89	会場の端っこでノーリードにしてパー飛ばしてる人がいる
90	会場の端っこにハードル並べてノーリードで飛ばしてるひとがいる
91	ラージとスモールがテントあたりで一緒になる
92	足場の悪さ
93	グラウンド状況
94	2日間の競技会初日にわんこが行方不明
95	走り終えた後、出口付近にいる犬とトラブルになるのではないかと思います。
96	地面が滑る、凹凸など
97	待機時の他の犬に吠えかかれ、自分の犬に襲い掛かれそうになった。
98	競技中に、他の犬が侵入して来た
99	グラウンドコンディション 砂利があるとか
100	悪天候（雷や土砂降り）
101	特に雨の日の競技会
102	雨の日の、ドッグウォーク
103	競技出走前にやたら吠える犬がいてる。
104	トンネルの固定具、タッチ障害の揺れと表面の滑り地面のデコボコ
105	興奮している犬から意識がはんれているハンドラーさんが怖いです。
106	スピードのある子なので芝生や地面の状態によって足がすべりやすい
107	リンクの泥沼に足をとられて犬が捻挫をした
108	呼び戻しがきかない、クレートから脱走などで交通事故
109	コースデザイン
110	トンネルのずれ、スラロームの杭、障害の角度
111	風が強い時
112	雨などの悪天候、悪コンディションの中での競技会
113	ドッグウォークのエントリーの角度
114	駐車場で車をぶつけられた（笑）

添付資料1

不安要素

115	雨の競技会で足場が悪い時、滑ったり転びそうになるのが怖い。強風でウォークなどから落ちそうになるのが怖い。
116	強い雨の日でも地面が田んぼのじょうたいでも決行されること
117	悪天候によるグラウンドコンディション
118	トンネル
119	犬のウォーミングアップなしで走らせる事
120	犬→強風時のドッグウォークと雨上がりのフィールド
121	犬がトンネル内でこけた時
122	スラローム土台に衝突
123	大雨の時のウォーク
124	大雨の突風の時のウォークやシーソーや人間の足元が滑る、他にはかみつき犬からの威嚇、強風の時のタープの固定
125	ぬかるんだ地面
126	コンタクト機材の前後のハードルの位置と飛ばす方向が危険だった。スピードになった犬を急に曲げるコース。犬に言うことを聞かせようと何度もショックを入れてる人。足場が悪く、挫いて怪我をした。大雨の時のDW。トンネルホルダーの少なさ。
127	雨天時のフィールドコンディションによっては犬が滑ったり転倒するリスクがある
128	コースデザインとハンドリング、出陣前後
129	機材の材質や置き方
130	泥や水溜まり
131	競技自体ではないが、自分の犬の管理が出来ていない方が時々いる。
132	犬のコントロールができていない飼い主がいる。
133	地面の凹凸による犬や人の怪我の心配
134	整地が不十分なフィールド
135	グラウンドコンディションが悪くても、通常のコースを設営される。安全性なんて全く考えてないように思う。そう思うなら棄権しなさい!! 簡単に言われると、競技会の開催が少ないのに、上に上がっていくのがとても難しい。
136	トンネルやドッグウォークの配置とトンネルホルダーの形状
137	古い機材、特に危険なトンネルホルダーの使用、犬が怪我しそうな危険なコースライン、会場が田んぼの様な水溜まりの中での競技など
138	使用されていた道具
139	トンネル固定について
140	リンクの広さなど止む得ない事情はあると思うが、ネットギリギリの障害の設置などや所々ネットがたるんでいたりするのは犬が乗り越えたり通行する人が引っかかったりつまづいて転倒するおそれがある
141	天候、グラウンドコンディション(草と凹凸)

添付資料1

不安要素

142	強風
143	機材、足場、コース設計リンクサイドの犬や人
144	お喋りや見学に夢中で犬の管理がきちんと出来ていない。
145	リンクの入口、出口が広すぎて犬が脱走、以前の競技会で犬がそのまま国道に出てしまいみんなの前で車に轢かれました。グラウンドに硬い低木が生えていて犬や人間もつまづいたり怪我しそう
146	風が強く複数の犬がドッグウォークから落ちていた。
147	脱走犬がリンク外の犬を押そう、リンクの足場が悪くてハンドラーが転倒
148	雨や雪で地面がヌタヌタ、びちゃびちゃの中、競技があった事
149	強風時の道具からの転倒
150	犬がリードをしていても勢いよく飛びかかってきた
151	荒天でも競技会を結構する姿勢、リンクのスタート待ちの時
152	競技会会場の地面の悪さや悪天候での競技続行
153	滑りやすい地面
154	土砂降りの雨と足をとられる地面
155	足場の悪さ
156	興奮した犬とその興奮を制御出来ていない飼い主。
157	リンクの中の走ってる犬がリンク周りの緑色の柵をすり抜けて通り過ぎしの犬に噛みつきに行ってた。しっかりと躡られてない犬でも出れるのはおかしい。
158	リンクに見学中の犬が入ってくる。隣のリンクから乱入してくる。
159	障害物が危険な配置なのに、そのまま競技を開始など、危ないなーと感じてみていたら、案の定犬が怪我をした。
160	リンクネットと障害の間の少なさ
161	障害の侵入角度、トンネル入口の金具、競技中の恐怖や雷
162	出走前後の犬の興奮状態よるかみつきによる事故
163	出走前後の犬の興奮状態よるかみつきによる事故興奮状態による犬の脱走やかみつき事故
164	競技会場の中に所々に凸凹が。出口近くに人と犬が群がってる
165	スタート、ゴールでの囲い
166	待機中や排便等の気を抜いている時が1番怖いです、すれ違いざまに噛まれたとか事故をよく聞くので。
167	フィールド状態が凸凹ではしりにくい状態の会場
168	スタートで待っている宇ぬや、出走後の犬が、リンクに乱入してくる事
169	我が家の犬ではないですが、出口からいきなり犬が飛び出して行くのを見て危険だと思いました。
170	強風下でのドッグウォーク。地面のコンディションの悪さ
171	雨上がりの芝で足を滑らせ腕を骨折。靴を慎重して万全を期します。

添付資料1	不安要素
172	熱中症・交通事故
173	整備させていないフィールド。老朽化している機材。U字トンネル等犬の故障に繋が りそうなコース
174	草の丈が長いリンク、ドッグウォークの乗り口の角度、トンネルの角度
175	ドッグウォークから落ちた。
176	ドッグウォークから落ちた。トンネルの中で滑って転んだ。草が濡れていて人が 滑って転んだ。
177	ドッグウォークから落ちた。トンネルの中で滑って転んだ。草が濡れていて人が 滑って転んだ。
178	コース設営における道具同士の接触状況。道具だけでなくコース的に身体への負担 や怪我のおそれ。道具の劣化。
179	ラージのボーダーがDW下のトンネル内でドッグウォークの足にぶつけて負傷した のを見た時、犬への安全性を確保して欲しいと感じた。
180	逃走しているわんちゃんを見たとき
181	リンク内での安全は皆さん周知だと思うが、リンク外での犬の管理を参加者が意識 して欲しい。
182	人は、雨の日の地面。
183	人については雨の日の地面。犬については落ち着きのない他犬。
184	ウォーミングアップなしで競技を行うことは犬の怪我につながると思う

添付資料2

その他安全に競技する為の改善案

1	余りにも危険な場合は中止も検討してほしい
2	コース上にてハードルとバーの進行方向先に同じ色のフラッグなどをつけないで欲しい。少し目の悪い犬にはバーが判別し難くなります。
3	スタートの待機場所を広く取り、順番に並ぶ
4	犬に脱走癖がある場合は自己申告してリンクの出入り口を封鎖する。
5	ウォークへ犬をなるべく真っすぐにのせられるようなコース設計にしてほしい
6	けが人が出たにも関わらずまた同じ会場で開催された事。
7	リードは出走前リンクに入ってから外し、出走後はリンク内で装着してから退場させる
8	失格退場になって、興奮状態の犬と、怒りで回りが見えなくなっているハンドラーが、スタートから退場した。私はスタート位置で犬を固定していたので逃げる場所がなく、襲われそうになった。
9	犬のスピードが上がってきている今日、登りもののコンタクトをする必要性があるのか疑問です。もちろん跳ぶのは危険ですがコンタクトゾーンが短すぎます。
10	リンクの出入り口をふさいで欲しい
11	スタートウェイティングエリア、ゴールエリアに他犬が入れないようなスペースがあれば、犬同士のトラブルが減るのではないのでしょうか。
12	ウェイティングエリア、ゴールエリアにスペースを設けて頂ければ、犬同士のトラブルが減ると思います。
13	劣化したラバーを取り換えて欲しい。アンチスリップのトンネルを絶対に使って欲しい。トンネルホルダーを1mに対して必ず1個使用して欲しい。
14	リンクとテントの間隔をあけて欲しい
15	危険のないコースかの確認のためにテストランをする。リンクの入りと終わりは、すぐ出入り口にならないよう、道をつくる
16	今年は暑い日が長く春からの競技会でもかなり暑かったのですが出走待機する所にももう少し日よけのタープがあれば良かったですね、タープ人張りだけだと他犬と距離感保つのにせいぜい2ペアくらいしか入れなくてあとは暑い日向で待ってなくちゃならなくて犬が心配でした。
17	ケネルクラブに JKC以外の団体のクラス分けを 参考にしてほしい
18	タッチ障害が不安定でないか確認
19	駐車場へのスムーズな誘導
20	競技会場の足場の整地は開催前にしておいて欲しい
21	ゴール付近、待機場所で観覧しない事を呼び掛けて欲しい
22	ウォーミングアップエリアの設置
23	犬のしつけ。スタートで待っていると襲われそうになったりして危険を感じた事がある。
24	一般の犬連れの見学者の配慮

添付資料2

その他安全に競技する為の改善案

25	スモールの犬なので、風がすごい時は、ドッグウォークを無くして欲しいです。犬が飛ばされて落ちる犬が特にスモールで多いです。
26	リンク内でのスムーズな進行
27	スムーズな進行
28	高温対策として待機場所の確保
29	コースデザインされる先生方の定期的な講習会等で知識レベルの向上を図る
30	獣医師などの常駐をすべき
31	事前にグラウンドの状況や使用道具を告知してほしい
32	リンクの出口を同窓会や反省会をする人がふさいでいて勢いよくゴールする犬と鉢合わせしそうになる
33	リンクサイドと観客が近すぎないで競技ができればいい
34	アジリティ経験のない人はジャッジをしない 地面の硬い会場では開催しない
35	ラージの競技の後はスラ周りの土が掘れてて危ないから穴を埋めるなどの対応を望みます
36	参加者全員でフィールドの草抜きや石拾いをすれば良い
37	出入り口に他の犬を出入りさせないで下さい。
38	コース図を設計する人は全て、海外などのコース図作成セミナー等を受けるべきだと思います。
39	リンクの出入口の拡張。他犬と接触したくない。
40	ウォーミングアップゾーンの常時設置
41	J K C は競技リンク出入口をOPDESの様にクランク上に瀬上井するなど脱走犬対策
42	雨天時もしくは雨天後のグラウンド状態が悪い場合は中止にしてもらいたい。
43	ウォームアップ用のスペース(走る前にハードルを飛ばす場所)が欲しい
44	雨、風が強い時は複雑なコースはやめて比較的簡単なコースにして欲しい。
45	スタート&ゴール系の配置
46	紐やワイヤーではないトンネルホルダーを出来るだけ沢山配置して欲しい
47	なるべく近い駐車場を求めて早起きし寝不足で競技に臨むのも怪我などの要因に成りかねないので、タープスペースに車を横付け出来たらいいなと思う。
48	かなり状態が悪い時は中止の判断も必要かと
49	出展ブースをスタートやゴールの付近にしてほしくないです。進行中の競技者とは関係のない人や犬がたくさんで、出走前なのに小型犬は抱かないと気付かれず危険だと感じる事が多々ありました。スタート前は競技者しか入れないスペースが欲しいです。
50	コースが雨でぬかるんだりしただしたら、まめに砂を入れて欲しい。主催者によってばらる気がありすぎ。九州の大会は前日の天候とかお考えたら砂を用意しておかなければいけない時でも用意されてなかった。

添付資料2

その他安全に競技する為の改善案

51	最近コースも難度が上がって来ています。犬にとって無理のない旋回、ラインを崩さないコースを作って頂きたいと思います。地面にも大きな窪みとかない様にして頂けたらと思います。
52	競技者のモラルを醸成する環境作り
53	待機場所を作って欲しい
54	スモールとラージが同じコースは危険を感じる事が多いです。
55	サイズカテゴリが違うのに全く同じコースだと危険性を感じることがあります。
56	スタートやゴールの位置
57	天候に左右されない環境の整ったフィールド
58	ゴール地点では、人・犬が立ち止まらず話さない。
59	その度の、グラウンド整備、砂入れなど
60	グラウンド整備、砂入れなど、たびたびして貰いたい
61	競技会場のスペースに余裕があれば、パドックとリンクの間の幅を出来るだけ沢山取って欲しい。
62	大雨時は中止にする決断を望みます。
63	リンクの出入り口をふさいで欲しい、犬が苦手な犬への配慮、リードをつけてからリンクを出る事を徹底して欲しい
64	以前、スラロームの配置でスラの途中砂地から芝生に変わる場所に配置されていて、うちの子が途中で足をすべらせてしまった、
65	スタート待機場所の余裕あるスペース
66	リンクサイド出入口付近へのエントリー犬以外の立ち入り禁止を周知する
67	室内競技場があると良いと思う
68	出走数の制限/あまり急かさないでほしい。
69	出場者をもっと使って路面の凹凸の改善はできるのではないかとおもいます。雨天時のぬかるみは諦めますが。
70	半屋内や屋内で協議ができる場所が増えて欲しい(ドラハは地面が固すぎて危ない)
71	AEDなどの準備
72	犬のウォーミングアップが出来る場所を設置して欲しい
73	ハードル高さの見直し
74	過去に競技会場でのかみつき歴がある犬は無条件に出入り禁止にして欲しい。
75	ハンドラーへの注意喚起
76	車の出入り
77	雨の日は、古い木の道具は余り使わないで欲しい。滑りやすく、危ない
78	誰でも意見、要望、感想を言えるネット環境があればその都度改善できることは多いのではないのでしょうか。
79	雨天の可能性が高くなる春などの時期はなるべく水捌けの良い会場で実施する。

添付資料2

その他安全に競技する為の改善案

80	天候や地面の状態に応じて犬の危険のない設営をして欲しい
81	たまにテントのロープがはみ出していることがあり、それに足を引っ掛けそうになる。
82	ゴールやスタート付近に人が固まらない様な配慮が必要。
83	リンク出口はストレートではなくコの字にネット張って欲しい。興奮して飛び出した犬が近くにいる犬にかみついた事例を何件も見ている。
84	雨天時にDW等の機材を使う際は競技をしていない間にカバーをして欲しい
85	特に雨天時に協議をしていない時には、DW等犬が機材の上を走る登る物機材費は極力雨で滑らない様にカバーなどをつけておくなどしてほしい。
86	特に雨天時にはDW等犬が機材を走るものには競技をしていない間はカバーをかけるなどして、極力雨に濡れて滑るような事を軽減して欲しい
87	日中温度が高い場合スタートエリアの日陰の確保
88	日本では、犬のウォーミングアップをするための場所が無い所がほとんどです。人間でも、競技の前には必ずウォーミングアップするのに。
89	使用機材の種類を事前告知、例えばアルミなのか木製なのか。
90	申込み時に使用機材の種類を告知。アルミか木製か。練習では最新機材で練習してもいっても競技会では古すぎる機材を使用されることが多々犬たちはそのような機材での練習@経験がないので危険を感じる。
91	暑さ対策
92	ジャッジの以外の人でも確認してもらうとか。
93	FCIがオフィシャルでガリカン使用ならば、国内競技はすべてガリカンで統一してほしい。またトンネルフォルダについてもFCIの基準を満たして欲しい
94	ウォーミングアップエリアがどの会場でもあると良い
95	パドックがあまりにもリンクに近いのはどうかと思う。テントを通路にはみ出して設置している人がいるが個人のマナーとかモラルとかでなく開催する関係者の指導で徹底してもらいたい
96	タッチ障害は揺れなどないか必ずジャッジが最終確認して欲しい
97	スタート&ゴールの付近の犬や人が密集する場所で危険を感じる(危害を加えられた)事があるので、ホワイエイ方式や見学者や通路と並ぶ人たちを分けてもらえると不安は減ると思う
98	トンネルからウォークへの侵入角度は特に考えてほしい
99	頭数が多くなる競技会は、開催日を分ける。リンクの張り方に工夫し、スタート待ちが安全になる様にする。
100	競技の出入口は仕切って欲しい…ゴールしたらすぐに他の犬に接触できるのは不安で仕方ない
101	悪天候での迅速なコース変更
102	リンク周辺への出走とかかわりのない犬の立ち入り規制
103	入口、出口

添付資料2

その他安全に競技する為の改善案

104	天候 雨や強風などでフィールドコンディションが悪くなった時は中止にして欲しい
105	ジャッジのコースデザイン研修、主催者へ安全な
106	熱中症対策。スタート前に3組くらい入れる日陰のスペースが欲しい。
107	リンクの出入り口の開口部の統一、北海道のように開閉できるとか
108	参加者1人1人がしっかり犬の管理をする事
109	フィールド状態を考慮した海上の選定
110	出入り口でのネットの設営が、もう少し配慮があった方がいいかなと思います。
111	水取スポンジなどを使用してはどうか
112	JKCの競技会の写真を撮りに行くことがありますが、これあり？な犬に厳しいライン取りのコースが見受けられる時があります。特に狭いリンクで無理くり設営してる様に思えます。扇島での競技会は特に酷いかと？一番海寄りでは地面の凹凸が酷く人が転ぶ事が多々。しかしながらその箇所は避けてリンク作りは可能なのに避けてのリンク作りをしない。タープ場所を凹凸に持って行けばいいものをどうしても3リンクを縦並びにしたいと思われ、毎回見る度に人にも犬にも優しくないと考えています。あと石がごろごろあるようなリンクも見かけたり、機材が昔ながらの木材製だったり時代に逆行してると思わざるを得ません。
113	道路から遠くのリンクにする、道路から近くのリンクは経験値の高い3度にする名などでしょうか。
114	短く草刈りはしてほしい、トンネルで捻挫させてしまったことがあるので角度に無理がないようにしてほしい
115	改善策は尽力されているので、グラウンドの確保スムーズな入場（駐車場）スタッフの配置、テントの用意。
116	準備運動エリアは必ず設置。順番待ちや、スタートとゴールエリアも整理
117	番号札の置き場所に配慮してほしい
118	リンク近くでのマナーや注意喚起をはっきり刑事しておくとか、
119	ウォーミングアップリンクの設置
120	ラージのスラロームでよくペグが抜けたり浮いたりしている

添付資料3

競技団体に望む改善案

1	コースの安全性を常に考えて欲しいです。難しければ良いという物ではないはずです。急旋回や登りの危険な角度など、どんなにえらいジャッジでも修正する勇気を持って欲しいです。
2	グラウンドコンディションがあまりにも悪い時は、コースを変えるとか棄権した方がいいとかの注意喚起又は中止にしてほしい。転けて怪我して遠出してるのに帰れなくなるとか犬もおるのに困るから
3	あまりにも荒天の時は中止にする勇断も必要かと思います。
4	や強風の時は安全面を考慮して競技会自体の開催を中止する決断も必要だと思う
5	出陳者にもっと寄り添う。
6	最近設置くださる競技会場も増えたのですが待機場所にテントがほしいです。
7	スタートから退場しようとするペアがいたら、アナウンスや係員が制止してほしい。
8	グランド状態が、水たまり、沼の場合は、人、犬ともに怪我の可能性があり主催者側は、競技自体を延期または中止するべきだと思います。
9	安全なコース作り
10	コンタクト障害への走行ラインが悪く危険に感じたコースがいくつかありました。コンタクトに上がっても横から落ちてしまう事もあり、『難しさ』ではなく安全性に欠けたコース図案をしている方がいます。少なくとも設営時には日頃協議をなさっているジャッジが安全性を確認していただく事を希望します。
11	コース設営について特にコンタクトへのエントリーに無理があるコース造りは避けてほしいです。『難し』と『危険』をはき違えているのでしょうか、少なくとも設営時には競技に出場しているジャッジの最終確認を希望します。
12	道具をヨーロッパの最新の物を導入して欲しい。コースビルドの勉強をしていないセンスのない年寄りのジャッジを使わないで欲しい。
13	コース製作の勉強をしっかりと危険のないコースをつくる。
14	大会に獣医師が役員として待機してくれてたら良いと思います。
15	グランドスチュワートのパー直しのタイミングを具体的にきちんと指導してほしい ゴールの近くに犬が入らないようにフェンスで仕切りで作ってほしい 強風のときは競技を中断してほしい
16	攻撃的な犬は自分の犬から目を離さない様にアナウンスして欲しい。離さないで
17	大雨は中止してほしい
18	機材はガリカンなどの世界標準でお願いしたい
19	道具には特に配慮していただきたい。特にトンネルホルダー、グリップのないトンネル …また、コース設営で危険と感じた場合には第三者からの意見もきちんと取り入れていただきたい
20	ゴムチップのコンタクトは必須

添付資料3

競技団体に望む改善案

21	グラウンドコンディションはなかなか良い時がないように思いますが、こちらはなかなか難しいとは思いますが、せめて機材は最新の安全な機材でお願いしたいです。練習機材の方が安全に配慮されていますが、競技会になると大人の事情なのか今時…という機材はご検討頂きたいです。
22	豪雨、強風などいぬが危険な状況の際は中止、またはコンタクトの設置など迅速な対応をして欲しい。
23	風の強い日はタッチ障害を、雨の強い日はバーの高さを考慮して頂けるとありがたいです。
24	競技団体のフィールドや機材を所有して欲しい
25	人も犬も怪我しそうな配置や足元のコンディションは競技会では特に配慮して貰いたい。
26	いつも配慮していただいているので感じたことはありません。
27	待機中の犬同士のトラブル配慮
28	スタート、ゴール、リンク付近にいる
29	犬に負担のないコース設定
30	リンクの出入り口で他の犬との接触を避ける為の措置をして頂きたい
31	タープ等の安全対策をしっかりと啓蒙する事
32	会場が分かりにくいので明確な地図が欲しい
33	JKCは準備運動用のハードルを用意してほしい
34	競技で使用する道具を統一して欲しい
35	参加者全員でフィールドの草抜きや石拾いをすれば良い
36	全てのトンネルにトンネルホルダーをトンネルが見えないくらい敷き詰めて欲しい。あとジャッジは全て安全で攻略市街のあるコース図の作成を勉強して欲しい。
37	雨はいいですが、雷は中断して車に避難させるべきです
38	事前に競技の進行がわかれば慌てないですむ
39	歪みや反りが目立つ木製機材の早期廃止。競技会をみても嫌がる犬を見掛ける。関西は使っていないと聞くが関東は木製機材率が高いです。
40	天候が悪い時(雪、台風など)大会の開催中止を考慮して欲しい
41	草刈りとか、とても大変だと思いますが、草が伸びていると、小さな犬は、草が目に入りそうで怖いです。
42	草刈りとか、とても大変だと思いますが、草が伸びていると、小さな犬は、草が目に入りそうで怖いです。
43	雨、風の時は比較的簡単なコースにして欲しい。
44	知識あるスタッフの配置
45	最近、競技犬の振る舞いについてよく耳にします。制御できない攻撃性のある犬や虐待をするハンドラーは競技資格について厳しく判断して欲しいです。
46	駐車スペースも事前予約？(近さで値段違うとか?)にしてもらって開門と同時に入る競走を無くして欲しい
47	犬の足に優しい会場選びをして頂きたいです。

添付資料3

競技団体に望む改善案

48	安全なコースを作成していただきたい
49	台風や大雨などで通行止めで競技会に来るのが困難な場合もあるので、行き帰りの安全も考えて欲しい
50	スラロームのとめているベグが飛び出たままスタートさせることをまずやめてほしい。ジャッジはリンク内の安全を確認する義務がある
51	スラロームのとめているベグが飛び出たままスタートさせることをまずやめてほしい。ジャッジはリンク内の安全を確認する義務がある
52	万が一に備えて獣医師を会場に派遣しておいてほしい。
53	機材とフィールドの安全性などを国際基準と同じにしてほしい。まずは、トンネルホルダーを数多く。
54	毎回早朝よりおつかれさまです。会場ボランティアとか募集したら良いのに。て思います
55	ホワイトドッグで走っていただけたら。
56	怪我をしないようなコース、グランドコンディションに留意して欲しいです。
57	どんな競技会でも良くしてもらっていると思います。
58	リンク出入り口付近の整備（出走前後での他の犬とのトラブル回避）
59	道具の安全性の向上
60	待機場所をもっと広くとってほしい
61	スモールより小さいカテゴリを作って欲しい。
62	スモールより小さいカテゴリを作って欲しい。
63	駐車場の誘導、リンク変更等に伴うパドックの変更等を競技団体が手動で安全にテキパキと配置すること
64	AEDの設置
65	受付の名前の書き方、リンクの位置など、すぐわかる様にしてもらいたい。
66	スモールより小さいカテゴリを作って欲しい。のSSを作ってほしいです。
67	天候不良の場合は中止にして欲しい、延期の場合は返金を
68	泥だらけ悪路になるのが想定される場合の日時の延期
69	金属製のハードルの撤廃
70	駐車場で、隣の車がセダンなのに、近くでドアをぶつけられた！
71	天候は自然の出来事なので、急な大雨や強風になる場合もありますがある程度予想される場合は早めの判断で中止などをきっぱりと決めて欲しいです。
72	雨の日の競技会はみんな嫌がります。それは自分たちが汚れることが嫌なわけではなく愛犬を大切に思うからです。基本雨で練習はしないです。競技会は雨天決行でも出陣してしまうのは高い競技会代(タープ代含め)返却されないことも大いにあると思います。JOAの競技会ではキャンセルした際に繰越できたり工夫がされていました。走らせたくないフィールド状態でキャンセルを選ぶ人が増えれば主催者側も考えてくれるのでしょうか。どろんこをポンプで汲み上げるなどではなく雨天決行できる環境で競技会を開催してほしいです。
73	天候の配慮

74	ハンドラーの高齢化が進んでいるので悪天候時のコースもジャッジは大変ですが考えてほしいです。
75	ハンドラーの高齢化が進んでいるので悪天候時のコースもジャッジは大変ですが考えてほしいです。
76	ハンドラーの高齢化が進んでいるので悪天候時のコースもジャッジは大変ですが考えてほしいです。
77	トンネルの固定方法がいい加減な競技会がある
78	トンネルの固定のやり方がいい加減な競技会がある
79	古い道具は使わない
80	悪天候時の競技会の中止を決断してほしい。
81	良質な競技会場の確保
82	1、2度と3度など日程を分けてもらえると助かります。
83	犬が転倒したシーケンスなどはデータ化し情報共有して今後に活かして欲しい。
84	天候やグランドの状態で中止にする勇気をもって欲しい
85	悪天候が分かっているのに開催するのはどうかと思う。大きな台風が知数いていたりしたら個人判断ではなく中止にして欲しい。
86	今年の七月の北海道の競技会で、コースデザインが特にラージクラスには危険なデザインであったりで、無理のあるコースだった事が特に気になりました。
87	足場がある程度整った場所での開催
88	道具やグランドなどハード面は、そんなに問題なく出来るとおもいますが、ソフト面のコースを作成する人のレベルの差が大きく、研修制度などジャッジの育成にも力を入れないと、日本は世界から置いて行かれる状態だとも思います。
89	台風ならば中止にしてほしい。会場に行くまでに災害に遭いそう。
90	台風の時は移動の時から危険なので、中止にして欲しい。
91	グラウンドの整備
92	ラージとスモールは少しコースが違って良いかと思います。
93	会場決定が難しい昨今ですが、地面にじゃりがあったり犬の足には硬すぎる地面の会場は避けて欲しい。
94	開催場所や駐車場など周囲の環境などを十分把握して決定して欲しい
95	保険に入っている事を知らない人もいるのでは
96	人、犬が事前アップ、クールダウン出来る場所を会場に設けて欲しい
97	風の強い日などはドッグウォークなど危険なものは変更して欲しい。
98	電車バス飛行機の欠航や高速道路の通行止め等、注意報が出るほどの自然災害の場合は早めに中止する。またその基準を明確にする。リンクが池や田んぼの状態でも協議を執行する事が無くなればよい。
99	雷等がすごい時も大阪の競技会で続行したのはどうかと思う
100	グラウンド状態の良い会場の選択
101	足場のいい会場の確保
102	足場のいい会場の確保

添付資料3

競技団体に望む改善案

103	余裕を持った進行
104	入口出口を簡単に出入りできない様にする。
105	ジャッジの方に『このコースは危ない』と言うと『欠場してください』と言われた。
106	スタッフの教育が行き届いて欲しい。
107	ゴールした犬はかなり興奮していると思います。出口付近に沢山の人、犬は自分の身になって考えて欲しいです
108	コースの難度の統一 審査員によってバラバラ
109	犬も人も走りやすい会場
110	ラバーでも、雨の日に表面が滑る器具は使わないで欲しい。
111	出陳頭数が多いのあるとは思いますが、リンクを小さくせず、犬、人に寄り添ったコース、リンク作りを望みます。
112	ハンドラーが怪我をしてしまったときに記録は残らなくていいのでハンドラーチェンジをさせて欲しい
113	日没までに終了出来る様なスケジュール
114	危険なコースではないか、作成時、設置時に確認。また、競技が進行していくと道具が動きます。細やかに確認して欲しい
115	アジリティ機材は消耗品であり破損するものである事を理解して積極的に修理交換して欲しい。
116	同じ場所でパッティングが多く出た、ドッグウォークから落ちる犬が数頭いたなど、同じ場所で危険なことが2頭以上でたコースは、後日協議して報告して欲しい。競技者が悪いにしてもどうやって回避すべきだったか教えて欲しい。私のペアはそのようなことになったことがないが、見ていただだけでも恐怖心が残っています。
117	ウォーミングアップゾーンが必要だと思う・強風の場合の規定が必要なのではないかと 思う